

ボツワナ共和国月報(2017年7月)

主な出来事

【内政】

- 野党 BMD 党首, 除名処分
- マシシ副大統領, ボツワナ大学学長に就任
- マシシ副大統領, 幹事長に再選

【外政】

- マシシ副大統領, AU 総会に出席
- ダライ・ラマ, ボツワナを公式訪問予定
- カーマ大統領, チリを訪問
- 日本, モツワハエ元駐日大使に叙勲
- ボツワナ, 北朝鮮 ICBM 発射実験を非難

【経済】

- デブスワナ社のダイヤモンド生産増加
- イタリアとボツワナ, 再生可能エネルギー分野で協力
- 政府, 米国へ牛肉の輸出を検討

【文化】

- 日本の400mハードル記録保持者, 為末大氏がボツワナを訪問
- モハピニャナ小学校, 日本大使館を訪問

【内政】

○ 野党 BMD 党首, 除名処分

ボツワナ民主運動党(BMD)は党首及び副党首を含む党員6名に対して除名処分を下した。除名を発表した党幹事長は、この除名により党が分裂することはないとし、党内規律を維持することが重要だと述べた。今回除名となった6名は不正行為等を理由に5月に停職処分を受けていた。(1日:ウィークエンド・ポスト紙)

○ マシシ副大統領, ボツワナ大学学長に就任

カーマ大統領はマシシ副大統領をボツワナ大学学長に任命した。任期は2017年7月5日からの5年間。(7日:デイリー・ニュース紙)

○ マシシ副大統領, 幹事長に再選

マシシ副大統領はトノタで行われた与党ボツワナ民主党の党大会で幹事長に再選された。マシシ副大統領が769票を獲得したのに対し、対抗馬のモレフィ・インフラ・住宅開発大臣は261票であった。また、事務局長には、バロピ氏が662票で選出。同職に立候補していたントウアナ氏は234票、ンカテ元駐日大使は118票であった。(10日:デイリー・ニュース紙)

○ 野党 BMD 党大会で暴動

週末ボボノンで開催された野党ボツワナ民主運動党(BMD)の党大会は混乱と暴力に包まれた。党は二つの派閥に分裂し党の主導権を巡って意見が対立、互いに投石し合うまで発展した。両派閥は党大会を別々に行い、それぞれの代表を決めることとなったが、代表権の正当性を互いに主張し裁判に訴える模様。(19日:モニター紙)

○ 野党 BCP, BNF, 反電子投票で連携

野党のボツワナ議会党(BCP)とボツワナ国民戦線党(BNF)は、政府の電子投票機(EVM)の導入に対抗するため、2019年総選挙で電子投票機が使用される場合には、選挙をボイコットする旨表明した。BCP はこれまでに電子投票機の導入を巡って独立選挙委員会(IEC)を提訴していた。(22日:ウィークエンドポスト紙)

○ 野党 BCP 党首, 野党連合代表に BMD 党内派閥の仲裁を求める

野党のボツワナ議会党(BCP)党首は、BCP, ボツワナ国民戦線(BNF), ボツワナ民主運動党(BMD), ボツワナ人民党(BPP)で構成される野党連合「民主改革のためのアンブレラ(UDC)」の代表に対し、BMD の党内派閥争いが野党連合の結束を揺るがすとして仲裁を求めた。BCP は、これまで BMD の派閥争いについては静観する構えであったが、BMD 党大会の混乱を受け仲裁が必要だと判断した。(19日:ボツワナ・ガゼット紙)

【外交】

○ マシシ副大統領, AU 総会に出席

第29回 AU 総会に出席していたマシシ副大統領がエチオピアから帰国した。マシシ副大統領は、インタビューに対し、アフリカ大陸における平和と安全の確保は、いかなる脅威にも晒されずに自由な暮らしを享受するための最重要課題だと述べた。本総会にはベンソン＝モイトイ外務国際協力大臣、(南スーダン合同監視評価委員会を率いる)モハエ前大統領等が同行した。(6日:デイリー・ニュース紙)

○ マエレ国土・水・衛生サービス大臣, SADC 閣僚級ワークショップに出席

マエレ国土・水・衛生サービス大臣は、7月12日から13日までスワジランドで開催される財源確保に係る SADC 閣僚級ワークショップ及びエネルギー投資フォーラムに出席する。また、同じくスワジランドで開催されるオカバンゴ河川流域委員会閣僚フォーラムにも出席する。(10日:デイリー・ニュース紙)

○ ダライ・ラマ, ボツワナを公式訪問予定

ボツワナ政府は、ダライ・ラマを公式訪問として迎え入れる(当館注:8月17~19日)旨発表。本訪問で、カーマ大統領はダライ・ラマと会談する他、ダライ・ラマ出席のセミナー(当館注:米国が

本部のNGOである Mind and Life Institute 主催でボツワナ大学で開催)へも出席することが決まった。(13日:デイリー・ニュース紙)

○ **ボツワナ政府, 中国政府のプロパガンダに注意喚起**

ボツワナ政府は, 中国政府がボツワナのジャーナリスト等を中国に招待し, ダライ・ラマのボツワナ訪問に反発する組織的なキャンペーンを行ったとし, ボツワナのジャーナリスト等に対し, ダライ・ラマに関連する動静については, ボツワナが尊重する民主主義と人道主義を踏まえた上で, 慎重に表現するよう求めた。(19日:デイリー・ニュース紙)

○ **ベンソン=モイトイ外相, 第19回政治・防衛・安全保障協力に係る SADC 閣僚委員会に出席**

ベンソン=モイトイ外務国際協力大臣は7月17日から19日までタンザニアで開催される第19回政治・防衛・安全保障協力に係る SADC 閣僚委員会会議に出席する。同会議では, 地域の平和と民主主義, 紛争の予防・仲裁について協議される他, コモロとブルンジの SADC 加盟申請についても協議される。(21日:デイリー・ニュース紙)

○ **カーマ大統領, チリを訪問**

カーマ大統領は7月30日から8月2日までチリを訪問する他, 途中, 米国に立ち寄り, ウィスコンシン大学主催の天然資源保護と持続可能性に関する会議に出席する。チリでは投資, 鉱業, 農業, 貧困削減, 人材育成, 科学技術研究などの各分野における協力関係につき協議が行われる。今回の訪問にはベンソン=モイトイ外務国際協力大臣, モラレ大統領府公共政策担当大臣, セレッツェ投資・通商産業大臣, ケボナン鉱物資源・環境保全技術・エネルギー安全保障大臣等が随行する。(27日:デイリー・ニュース紙)

○ **日本, モツワハエ元駐日大使に叙勲**

日本大使館は, モツワハエ元駐日大使に対し, 日本に対する顕著な功績があった外国人に対して天皇陛下より授けられる旭日重光章を授与した。勲章伝達式において, 尾西大使は, 同氏が日・ボツワナ間の相互理解の促進と友好関係強化に貢献したことに鑑み同勲章の授与が決定されたと述べた。(28日:ボツワナガーディアン紙, 30日:パトリオット紙, 31日:デイリー・ニュース紙)

○ **ボツワナ, 北朝鮮 ICBM 発射実験を非難**

31日, ボツワナ政府は北朝鮮による大陸間弾道ミサイル(ICBM)発射実験を非難する声明を発表。北朝鮮が他国からミサイル技術に係る支援を受けていると指摘した上で, 米国の迎撃ミサイルシステム(THAAD)の配備を支持すると共に, 北朝鮮に対する国際社会の圧力を求めた。(31日:デイリー・ニュース紙)

【経済】

○ ボツワナの主要経済指標

1) 経済成長率(出典:ボツワナ統計局)

2017年第1四半期の経済成長率は、前期比0.2%(2016年第4四半期の経済成長率は、前期比0.1%)。

2) インフレ率(出典:ボツワナ銀行)

2017年6月は3.5%(2017年5月は3.5%)。

3) 為替レート(出典:First National Bank of Botswana)

2017年7月31日

1プラ=0.096米ドル

1プラ=1.232南ア・ランド

1プラ=10.72円

2017年6月30日
1プラ=0.095米ドル
1プラ=1.227南ア・ランド
1プラ=10.73円

○ ダイヤモンド産業

1) オカバンゴ・ダイヤモンド社の売上9%増加

オカバンゴ・ダイヤモンド社(当館注:ボツワナ政府の経営するダイヤモンド販売会社)は本年上半期において3億900万米ドルのダイヤモンドの売上を記録した。同売上は、昨年同時期の売上に比べ9%増加した。同社は、2017年においてさらに10回のオークションを開催する予定であり、同オークションにおいてデブスワナ社(当館注:ボツワナ政府とデビアス社との合弁企業)が生産したダイヤモンドの15%を販売する見込み(当館注:残り85%はデビアス社が販売)。(14日:メヒ紙)

2) デブスワナ社の生産増加

デブスワナ社の第2四半期のダイヤモンド生産量は、ダイヤモンド市場の回復を受け、昨年同時期より14%増加し、590万カラットとなった。(21日:メヒ紙)

○ エネルギー・資源

1) イタリアとボツワナ、再生可能エネルギー分野で協力

イタリア政府とボツワナ政府は、当国の再生可能エネルギー分野を改善するためのMOUを締結した。同MOUの締結により、イタリア政府はボツワナ政府に対し、200万ユーロを資金提供し、同資金を使ってボツワナ政府は再生エネルギー分野におけるキャパシティービルディングを行い、また、同分野における投資及び技術移転を促進する。(6日:メヒ紙)

2) 石炭ガスの商用生産に係る許可申請の提出

Tlou Energy 社(豪)は、石炭ガスの商業生産を開始するための許可申請を政府に提出した。同許可は、環境インパクト評価の終了後に発行される予定。同社は、ボツワナにおいて炭層メタンガスの探査を実施しており、ンマシヨロ地区においてガス資源の巨大な鉱床を発見している。また、同社は10億ブラ相当以上の100MW石炭ガス発電所の建設を検討しており、商業生産に係る許可が下りれば、石炭ガス発電所の建設が進むこととなる。(26日:ボツワナ・ガゼット紙)

○ 政府、米国へ牛肉の輸出を検討

投資・通商産業省は、現在ボツワナの牛肉を米国に輸出するための競争力及び市場調査に係る分析を実施している。同分析は米国政府の南部アフリカ貿易投資機関の支援を受けて、実施されているもので、7月初めから開始され、8月末までに完了する見込み。(28日:メヒ紙)

【文化】

○ 日本の400mハードル記録保持者、為末氏がボツワナを訪問

日本の400mハードルの記録保持者である為末氏がボツワナを訪問し、ボツワナの陸上選手に対して、夢を掴むためには物事の捉え方を変えることが重要だと説いた。為末氏は、ボツワナのスポーツ振興を目的として、日本大使館に招待されボツワナを訪れた。尾西大使は、2020年の東京オリンピックでボツワナ人選手が活躍することを願う旨述べた。(27日:パトリオット紙)

○ モハピニャナ小学校、日本大使館を訪問

28日、モハピニャナ小学校の教師5人と生徒70人が日本大使館を訪問する。日本大使館を見学することで、大使館の仕事とその役割、そして日本とボツワナの二国間関係についての理解を促進することが狙い。(27日:デイリー・ニュース紙)